

【概要】

2015年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】(第2回)

I 調査の概要

本調査は、調査対象期間(2015年7月～2015年10月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、そのうちフラット35利用者についての結果を取りまとめたものです。(回答数:186件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 フラット35を知るきっかけは、「住宅・販売事業者」が最多<p.2>

- ・フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等は、「住宅・販売事業者」(21.0%)、「新聞記事」(17.7%)、「インターネット」(15.6%)の順
- ・フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「新聞記事」、「新聞広告」、「住宅情報誌」等の影響が大きい。

2 フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」が最多<p.5>

- ・フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」(53.8%)が最多
- ・前回調査では、「フラット35Sを利用したい」は4位(13.2%)であったが、今回調査では3位(21.0%)へ上昇

3 フラット35に対する満足度は、『総合評価』で「大いに満足」が上昇<p.6>

- ・フラット35に対する満足度については、『総合評価』で「大いに満足」が前回調査の21.7%から27.4%へ上昇